

現場、顧客第一線の 改善事例共有

NIPPPO

NIPPPOは1月28日、東京都中央区のMETTING SPACE東京八重洲で第15回NIPPPOグループ改善事例発表会を開いた。写真。東京会場には109人が参加したほか、他会場からのウェブ参加もあった。

改善事例は、技術系部署に加えて、総務や営業といった事務系部署を含む全部署が対象となる。品質、生産性向上、ICT、働き方改革、担い手確保などをテーマとした12編の改善事例が発表された。



和田千弘社長は「改善事例発表会は、それぞれが第一線で多忙な中、目の前にある仕事に自ら問題意識をもって取り組んだ成果であり、自信をもって発表してほしい。現場、顧客に接する第一線の方々の改善こそが当社が掲げる『確かなものづくり』で重要な取り組みだ。今回の発表成果を全社で共有してほしい」とあいさつした。

中田尚行常務技術本部長は「これからも皆で考え、業務改善に取り組もう。今回の発表以外にも、支店で開催された良い事例は全社で展開し、つながりを持つよう今以上に取り組んでほしい」と総括した。

審査の結果、最優秀賞には「高速道路通行止め工事における時間管理の改善事例」が選ばれた。このほか、優秀賞2編、審査員特別賞2編が選出された。



品質や生産性向上など
テーマに改善事例発表会
NIPPPO
NIPPPOは1月28日、
15回目の「グループ改善事
例発表会」を東京都中央区
のMEETING SPACE
CE東京八重洲で開いた。
技術系と事務系の全部署を

対象に、品質や生産性向上
などをテーマとした改善事
例を発表。現地に109人
が参加し、他会場からのウ
ェブ参加も受け付けた。

働き方改革や担い手確保
などをテーマに設定した。
グループ会社を含む12支店
の79編から選ばれた改善事
例12編を発表した。

和田千弘社長は「現場、
お客さまに接する第一線の
方々の改善こそが、当社が
掲げる『確かなものづくり』
で重要な取り組みだ。今回
の発表成果を全社で共有し
てほしい」と呼び掛けた。
写真(報道発表資料から)。